



TOTO GREEN CHALLENGE

TOTO水環境基金

第9回 助成団体活動報告

(2014年4月~2015年3月)



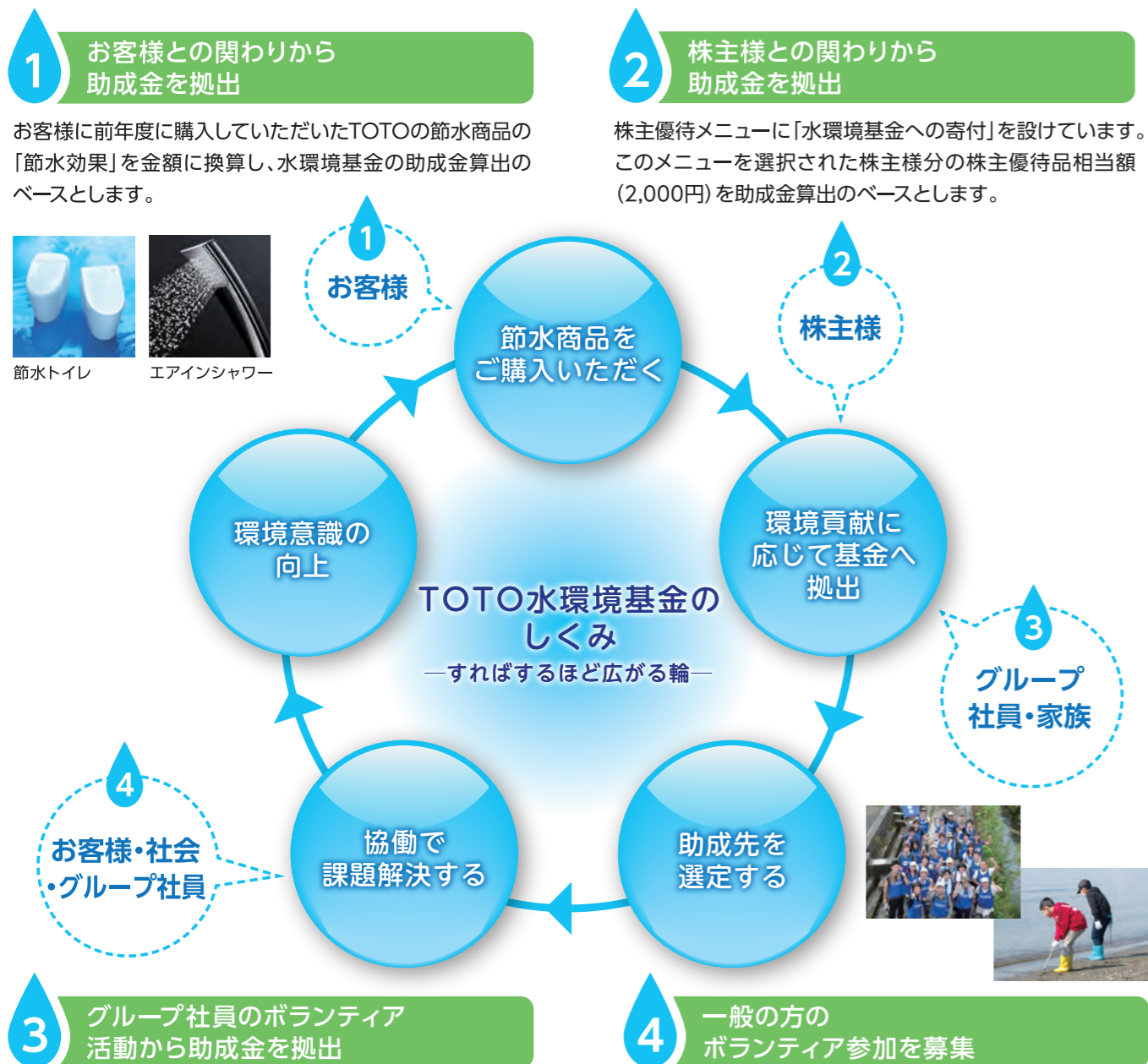
TOTO水環境基金とは

TOTOグループは、水まわりを中心とした、豊かで快適な生活文化を創造することで、社会の発展に貢献する企業を目指しています。未来に向けて、大切な水資源を有効に活用して社会が持続的に発展していくためには、節水技術の追求というTOTOの果たすべき役割とともに、NPOをはじめとする市民活動の果たす役割も欠かせません。そこで、よりよい社会を築き支え、社会と共生することを目的に、2005年度にTOTO水環境基金を設立し、市民の取り組みを支援することにしました。

現在では、助成金による経済的支援だけでなく、TOTOグループ社員の活動参加や情報交換などを通じて、年々活動の輪が広がっています。

環境貢献のサイクル

社会全体との協働を通じた環境貢献を目指して、ステークホルダーの皆様の環境貢献への関わりが増すほど、助成金が増えていく仕組みを展開しています。



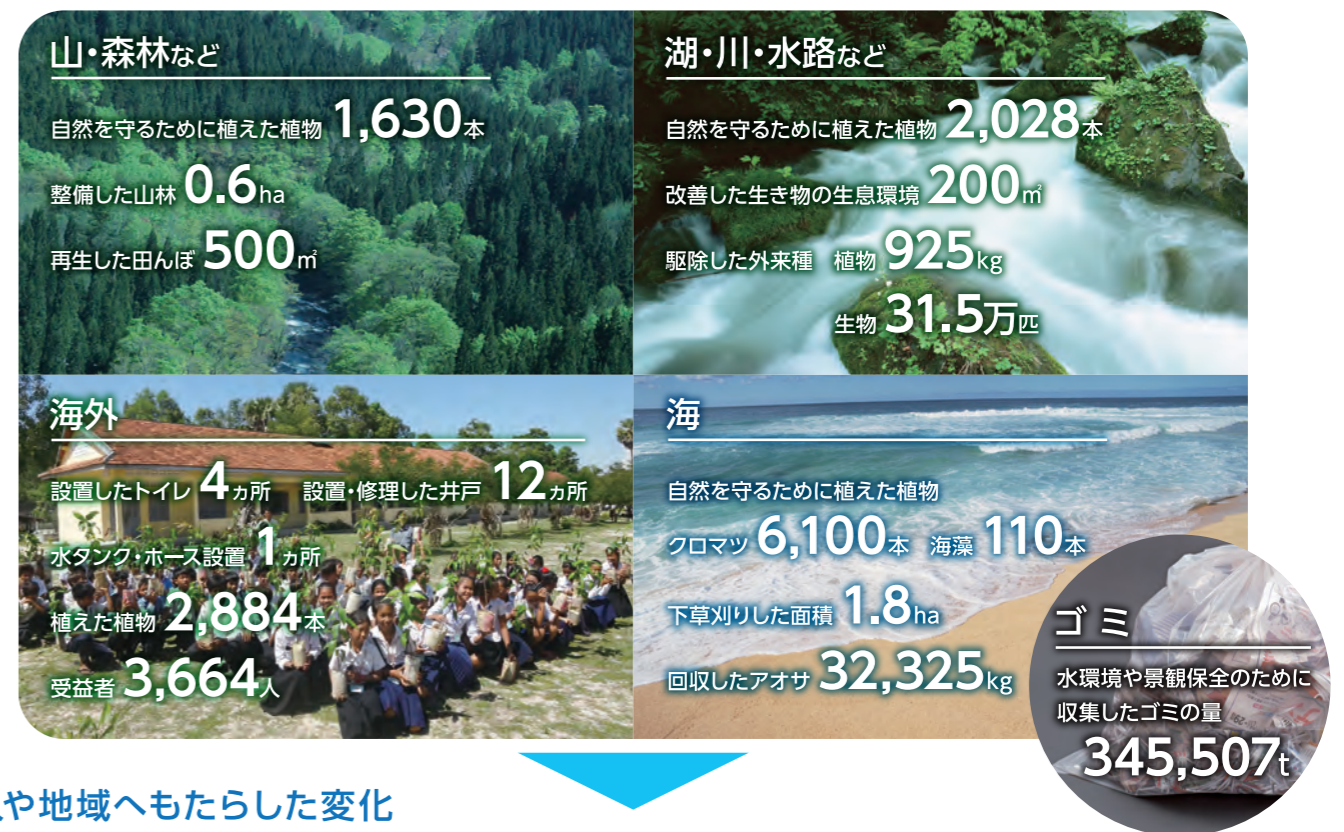
第9回助成活動の成果

助成金 総額 **1,300**万円

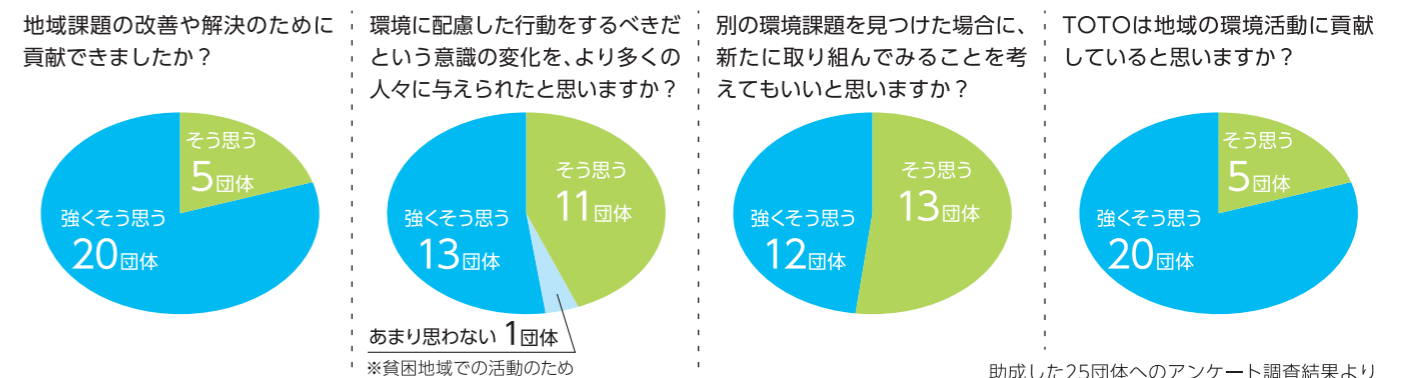
運営経費 **393**万円

■ 助成によって実施した活動

助成団体 **25**団体
活動回数 **539**回
活動にご参加いただいた人数 **27,266**人
うちTOTOグループ参加人数 **2,069**人



■ 人や地域へもたらした変化



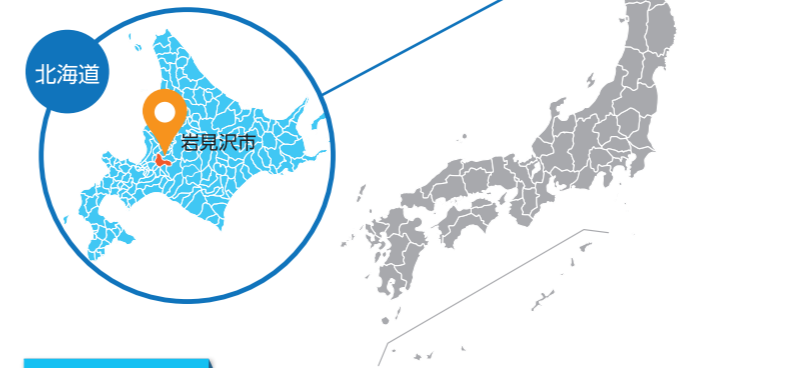
第1回～第9回の累計

助成団体:158団体 助成金額:1億7,041万円
活動回数:1,084回(第7回以降) 参加人数:49,666人(第7回以降)

No.	プロジェクト名	団体名	主な活動地域	ページ
1	川の一年を利活用した河川環境保護事業	NPO法人 山のない北村の輝き	北海道岩見沢市石狩川	4
2	子どもから大人まで体験・なっとく広瀬川プロジェクト	カワラバン	宮城県仙台市青葉区、若林区・名取市関上	5
3	高根自然学校パート2『楽しいどんぐり広場づくり』	高根フロンティアクラブ	新潟県村上市高根	6
4	白子川源流の水辺環境保全と湧水の町づくり	白子川源流・水辺の会	東京都練馬区南大泉	7
5	川ゴミ問題解決に向けた、川ゴミ調査の社会発信事業	NPO法人 荒川クリーンエイド・フォーラム	東京都荒川区荒川河川敷	8
6	千葉県九十九里海岸保安林における環境の再生活動	NPO法人 森のライフスタイル研究所	千葉県山武市蓮沼	9
7	児沢の森 田んぼの学校 環境教育プログラム開発事業	NPO法人 比企自然学校	埼玉県東松山市岩殿	10
8	自然に還る いのちの循環プロジェクト ~沼沼のラムサール条約登録を目指して	NPO 環~WA	茨城県東茨城郡茨城町	11
9	ちびっこ砂浜の生物多様性 ふれあいウォーク	虹のとびら	愛知県豊橋市遠州灘海岸(表浜海岸)	12
10	流木から海の森(海藻林)を守る水環保全活動	一般社団法人 海っ子の森	三重県北牟婁郡紀北町、尾鷲市	13
11	大富山湿地帯の涵養と保護及び美佐野街道と伊野川とのふれあい場所の整備	大富山を愛する会	岐阜県土岐市	14
12	ピマズが遡上する家棟川に 一山・川・里・湖の繋がり再生プロジェクト	NPO法人 家棟川流域観光船	滋賀県野洲市	15
13	海浜公園海辺のアオサ回収 & 堆肥化プロジェクト	高砂海浜公園海辺の保全集いの会	兵庫県高砂市	16
14	「外堀川クリーン作戦」 ~まちづくりコミュニティ清掃~	NPO法人 アンビシャス コーポレーション	兵庫県姫路市	17
15	親水ひろば・河川敷牧草栽培による川の再生維持の事業	NPO法人 飯梨川再生ネット	島根県安来市	18
16	こども森林ボランティア養成講座 [もりメイトキッズ]	NPO法人 もりメイト倶楽部 Hiroshima	広島県大竹市	19
17	水と緑の美化プロジェクト	東朽網校区まちづくり協議会	福岡県北九州市小倉南区	20
18	ホテル舞う旧長崎街道を目指して ~ホテルの飛翔域の拡大~	香月・黒川ほたるを守る会	福岡県北九州市八幡西区	21
19	ほりの再生をめざして ~多様性と連帯性のふるさとへ~	アクアリング委員会	福岡県大川市	22
20	緑豊かな大新田海岸再生プロジェクト	NPO法人 水辺に遊ぶ会	大分県中津市	23
21	冷川のホテルと親しむ会	冷川のホテルと親しむ会	大分県別府市	24
22	第3回 氷川ダム湖かき殻まつりと氷川ダム"ホテルの郷"づくり	次世代のためにがんばる会	熊本県八代市	25
23	カンボジア農村地域の植樹活動及び環境教育	World Assistance for Cambodia and Japan Relief for Cambodia	カンボジア シェムリアップ州・タケオ州	26
24	フィリピンで有機農業を広め、水源の森を守ろう!	NPO法人 イカオ・アコ	フィリピン共和国西ネグロス州シライ市	27
25	モザンビーク共和国・カーポデルガド州・ナンカラモ村周辺への井戸とトイレの設置	モザンビークのいのちをつなぐ会	モザンビーク共和国 カーポデルガド州リンデ村	28

川の一年を利活用した河川環境保護事業

団体名 NPO法人 山のない北村の輝き
 主な活動地域 北海道岩見沢市石狩川
 代表者 石黒 正



活動報告

真冬での植樹が可能なバイオブロック工法による製作から植樹までの一連の作業を体験し、父母と子どもたちとのふれあいが深まった。また、地域の人たちとの交流も深まり、地球温暖化対策への一つの行動として、川や川の環境に対する関心度を高めることができた。本事業の実施により、今後の石狩川流域全体の環境保全活動の連携が進み、河川利用や環境保全、開発事業などが適正に図られるよう、官民協働による流域づくりと国土保全に繋げることができた。

活動実績

参加人数

のべ **317**人
うちTOTOグループ参加 **32**人

活動回数

5回

集めたゴミの量

20リットル袋 **10**袋

植 樹

ヤマ紅葉ほか **560**本



カミネッコ



北村河川清掃

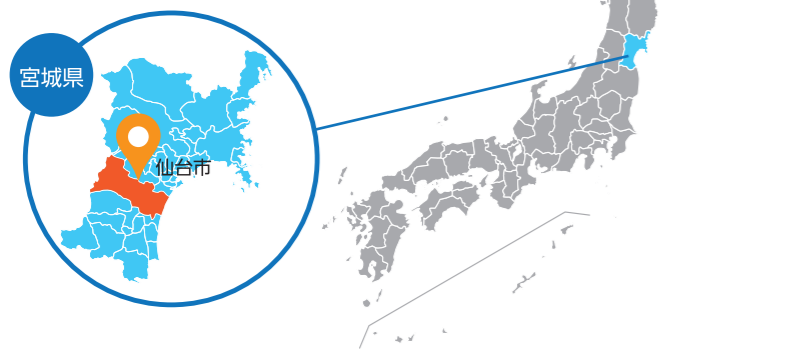


緑の回廊づくり



子どもから大人まで体験・なっとく広瀬川プロジェクト

団体名 カワラバン
 主な活動地域 宮城県仙台市青葉区、若林区・名取市関上
 代表者 菅原 正徳
 HPアドレス <http://www.kawara-ban.org>



活動報告

小学校で定着しつつある川で遊び、川に学ぶ機会を最大限に活かすべく、その機会の少ない幼児・中学生・高校生・社会人を対象にした年代別の環境学習プログラムの素案づくりと試行を行った。幼児向けプログラムは「川や生き物に興味を持つ」、小学生では「川や生き物に触れ楽しむ」、中学生では「生態系や環境が理解できる」、高校・大学生では「課題を把握し具体的な行動ができる」、社会人では「学びを仕事や家庭、社会に還元できる」と段階等に応じた目標を設定している。試行を通して、普段、川に接する機会が少ない人にとって、川での体験は多くの学びを得られるものであることと、そのアプローチも多様であることをあらためて実感した。



子どもと楽しむ川遊び講座



環境学習プログラム



広瀬川へサケを見に行こう&サケの産卵場整備

活動実績

参加人数



のべ **46**人
 うちTOTO
 グループ参加 **5**人

活動回数

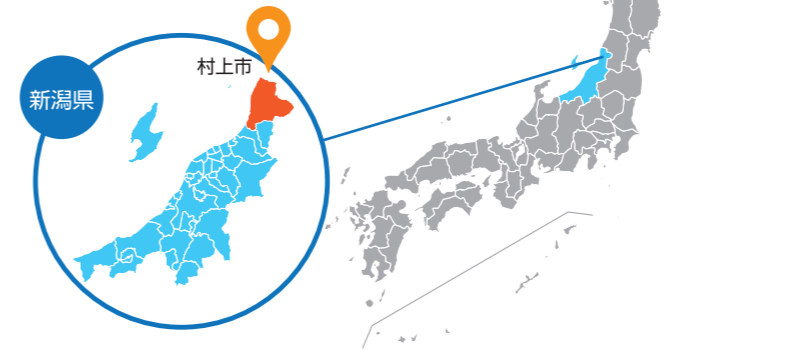


4回



高根自然学校パート2 『楽しいどんぐり広場づくり』

団体名 高根フロンティアクラブ
 主な活動地域 新潟県村上市高根
 代表者 遠山 政好
 HPアドレス <http://www.takane-net.jp/frontier.html>



活動報告

2011年に立ち上げた高根自然学校プロジェクトは順調に進み、現在は助成金なしで活動している。どんぐりの森作りも始まって4年目となる。周辺は景色の良い場所であるが、隣接地は遊休農地となっており、環境的には人が入りづらい状況であった。

そこでどんぐりの森と一体となった、多くの人が自然に親しみ、楽しめる場所として整備したいと考えた。菜の花、そばなど、里山に相応しい畑にするため、石拾い、種撒きを一般の方にも呼びかけて作業を行った。また芝桜を植栽し四季折々の花が咲く場所に整備をした。イベントを開催しながら、今後も継続して、どんぐりの森周辺の環境整備を図っていきたい。



雪ム口開き



ひまわり種まき



そば種まき&天蓋高原

活動実績

参加人数



のべ **1,144**人
 うちTOTO
 グループ参加 **65**人

活動回数



9回

植樹

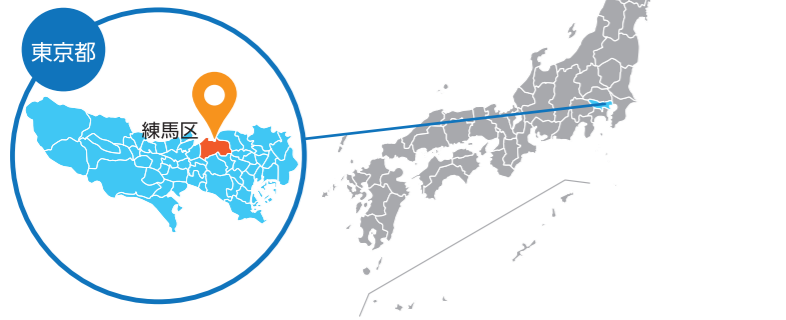


芝桜
500株



白子川源流の水辺環境保全と湧水の町づくり

団体名 白子川源流・水辺の会
 主な活動地域 東京都練馬区南大泉
 代表者 菅沢 博
 HPアドレス http://www.geocities.jp/sirako_river/



活動報告

毎月の定例活動(水質調査、川掃除、生き物調査)をメインに活動して、源流の環境保全に努め、ひとりでも多くの「白子川ファン」を増やすべく、随所に地域住民を巻き込んで活動した。その結果、概ね目的を達成した。

1. 毎月第4日曜日の定例活動は、TOTOのみなさんのご支援をいただいたおかげで予定通り実施できた。
2. その活動には地域住民(特に子どもたち)が多数参加した。
3. 年間最大のイベントである「白子川源流まつり」も約1,000人で賑わい、成功裏に開催できた。
4. 大泉南小学校の総合学習を積極的に支援した。



毎月の定例活動



ごみ&生物ゲット隊



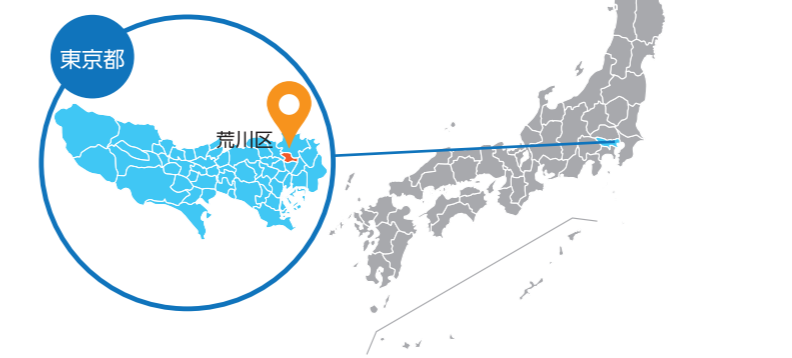
白子川源流まつり

活動実績



川ゴミ問題解決に向けた、川ゴミ調査の社会発信事業

団体名 NPO法人 荒川クリーンエイド・フォーラム
 主な活動地域 東京都荒川区荒川河川敷
 代表者 佐藤 正兵
 HPアドレス <http://www.cleanaid.jp/>



活動報告

荒川流域での「調べるゴミ拾い」(ゴミを調査しながら拾う)活動を通して、自然環境に深刻な被害を及ぼしている川ゴミを回収するとともに、参加者一人ひとりが川ゴミの現状に気づき、ゴミを正しく捨てる、ゴミを生まない循環型のライフスタイルを実践するよう促す、啓発型のゴミ拾い活動である。

また、調査データを公表し、川ゴミ問題の解決を広く社会に呼びかけている。成果と調査結果を報告集に取りまとめ(1,200部発行)、荒川や全国の川に関わる団体・個人に配布した。また、調査データや活動状況等、川ゴミについてSNSを通じて発信した。

3月の投稿数: ブログ2件(ビュー数:4,933)
 フェイスブック28件(リーチ数:8,212)



川ゴミの回収



荒川クリーン活動



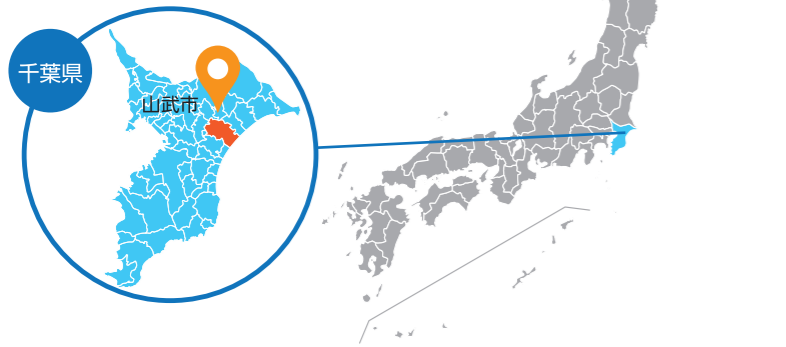
調べるゴミ拾い

活動実績



千葉県九十九里海岸保安林における環境の再生活動

団体名 NPO法人 森のライフスタイル研究所
 主な活動地域 千葉県山武市蓮沼
 代表者 竹垣 英信
 HPアドレス <http://www.slow.gr.jp/>



活動報告

千葉県山武市蓮沼下海岸保安林は、東日本大震災の津波による塩害を受け枯れてしまっていた。海岸保安林は、地域住民の暮らしを砂や風や潮から守ってくれる大切なものなので、この再生は、地域の環境保全と生活環境の回復の両面に貢献する。

そこで、地域行政と市民や企業ボランティア等の連携によって本基金を活用し、これまで手掛けてきたエリアの下草刈りという保育活動と海岸林の機能向上のための伐採・地拵え、植林活動を行った。

海岸保安林の再生には人海戦術が必須条件なので、これまで以上に多くの参加者の動員が課題となってくる。地域の小中学校への呼びかけ、企業CSRとのさらなる連携も進めていきたい。



下草刈り

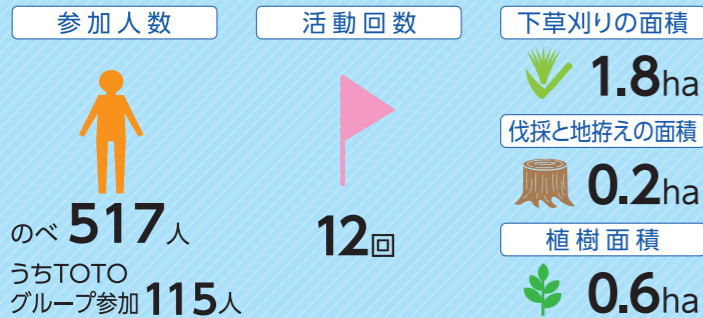


植樹



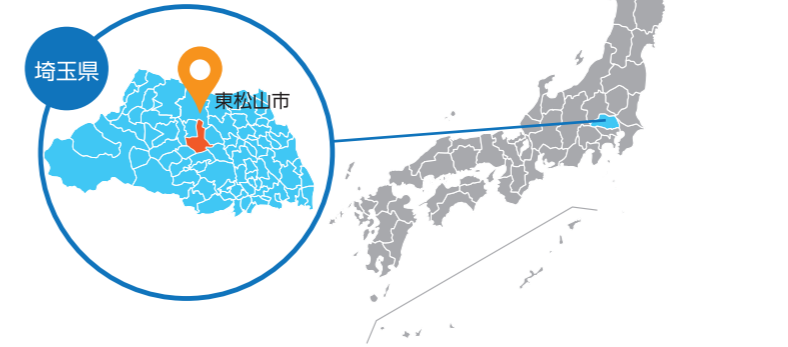
伐採

活動実績



児沢の森 田んぼの学校 環境教育プログラム開発事業

団体名 NPO法人 比企自然学校
 主な活動地域 埼玉県東松山市岩殿
 代表者 千葉 茂樹
 HPアドレス <http://hns.hiki.tv/>



活動報告

耕作放棄された雑木林に囲まれた小さな田んぼ(谷津田)を、素掘りの用水路・土の畔・冬季湛水により、メダカ・ドジョウ・ゲンゴロウなどの生息場、ヤマアカガエル・シュレーゲルアオガエル・トウキョウサンショウウオの産卵場、トンボ類の繁殖場など、多様な生きものを育む田んぼとして再生した。

再生した田んぼでのお米づくりと田んぼの管理体制を構築し、田起こしなどの田植え準備から、田植え後の田んぼの日常管理などを行う、シニアボランティアによる管理体制を構築した。

これまでの3年間の取り組みの中で、耕作放棄された児沢地区のすべての田んぼ(面積約1,200㎡)を再生することができたため、新規に岩殿地区での活動を開始した。



岩殿地区大東大農業実習

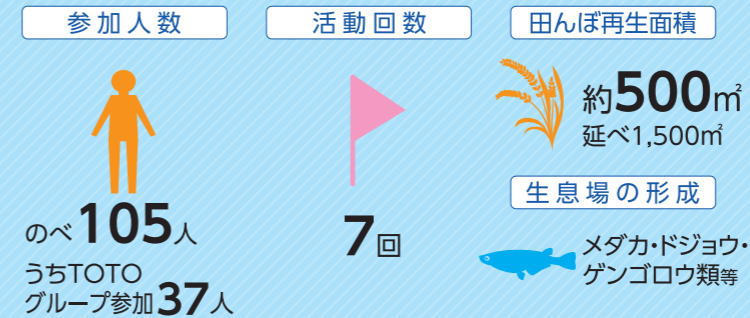


田植え



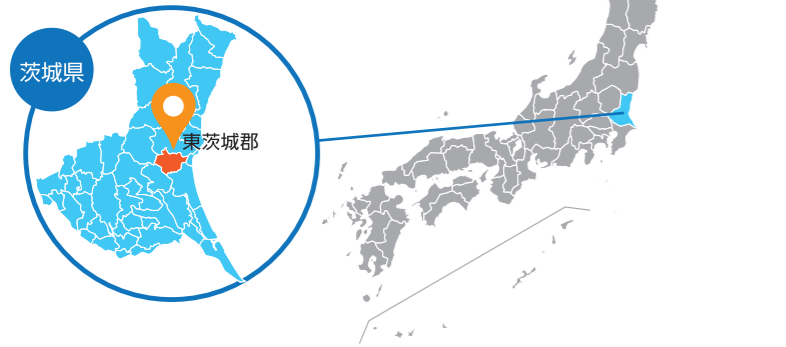
収穫祭

活動実績



自然に還る いのちの循環プロジェクト ～潤沼のラムサール条約登録を目指して

団体名 NPO環～WA
主な活動地域 茨城県東茨城郡茨城町
代表者 平澤 文子
HPアドレス <http://npowa-satoyama.com/>



活動報告

地域のシンボルである「潤沼」は、希少種であるオオワシや渡り鳥スズガモの群れが渡来する生物多様性豊かな汽水湖として、ラムサール条約(特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約)登録候補地となっている。生態系は流域の自然環境、水環境、人々の暮らし方の影響を受けるため環境保全が叫ばれてきた。

源流域であるはずの荒廃した山林や、山林に囲まれ遊休地となった畑の整備を行い、並行して「森・畑・水辺・人々の暮らし」のつながりを体験的に学ぶ機会をつくってきた。また、潤沼湖岸での伝統まつりでは、手づくり行灯で啓発活動を行い地域に環境保全を呼びかけた。今後も、いのちを育む自然循環の中で、自らがどう行動するかを参加者とともに考え、実行し、自然環境の再生を図る。



間伐スギ草木染め



駆除竹が農業資材に



水と恵みの勉強会 源流域の地層を学ぶ

活動実績

参加人数
のべ **554**人
うちTOTOグループ参加 **75**人

活動回数
22回

どんぐり育苗
約 **500**鉢
整備面積
山林 **0.3**ha
遊休地利用 **1,800**m²
里山整備間伐材搬出量
長さ2m 直径15cm以上の丸太のみ **6**m³



ちびっこ砂浜の生物多様性 ふれあいウォーク

団体名 虹のとびら
主な活動地域 愛知県豊橋市遠州灘海岸(表浜海岸)
代表者 山口 清之
HPアドレス <http://nijinotobira.org/>



活動報告

本事業は、親子を対象に〈生物生息地の保全〉と〈生物多様性の主流化〉の2つを主として、意識・関心を高めることを目的として行った。『海岸ゴミ、漂着物を知る』では「漂着物ビンゴ」で、海岸清掃時に回収したゴミを用い、ゴミの種類や由来等について学んだ。『ウミガメ講座』では絶滅危惧種に指定されているアカウミガメが産卵に訪れることから、アカウミガメを指標動物として、海岸環境の改善について考察した。『漂着物アート』では回収した漂着物を活用し、親子で一緒に工作するワークショップを行った。

以上の体験・学習活動を、専門家の講演等とともに伝え、水環境を通して自然の美しさ・大切さを身近に体感してもらえる機会とした。



表浜の生物に触れよう



海岸清掃



漂着物で工作

活動実績

参加人数
のべ **130**人
うちTOTOグループ参加 **55**人

活動回数
3回

集めたゴミの量
30リットル袋 **50**袋



流木から海の森(海藻林)を守る水環保全活動

団体名 一般社団法人 海っ子の森
主な活動地域 三重県北牟婁郡紀北町、尾鷲市
代表者 山下 達己
HPアドレス <http://www.umikko.jp/>



尾鷲海の植樹



尾鷲海岸清掃



間伐材活用イベント

活動報告

三重県南部の熊野灘に面する山々は急峻で、大雨のたびに放置間伐材や風倒木が海に流れ出し、海岸の景観破壊や生態系破壊を起こしている。間伐材利用拡大の方策として、可搬式組立て型簡易ベンチ、ベット、トイレを、地元民および地元木工所と連携して津波避難場所に設置する取り組みを行った。

尾鷲市行野浦にてダイビングショップ「シードリーム」の協力を得て、TOTO社員、海っ子の森メンバー、協賛市民ダイバーの参加により、海岸・海中・磯の清掃活動を実施した。

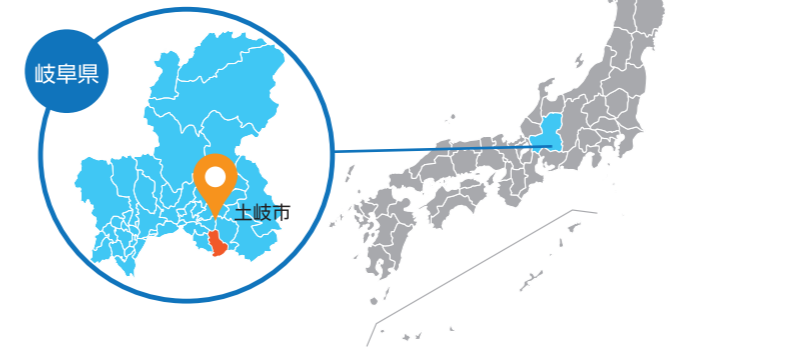
海の植樹として、自然石を使ったカジメ苗の植樹、プレート固定のカジメ苗を岩盤に植樹した。

活動実績



大富山湿地帯の涵養と保護及び美佐野街道と伊野川とのふれあい場所の整備

団体名 大富山を愛する会
主な活動地域 岐阜県土岐市
代表者 庭野 雅人



湿地林現地調査



森林整備



美佐野街道草刈り

活動報告

市民が生活するエリアの近くにある大富山には、貴重な植生物が生育する湿地帯があり、古くは人々が往来した美佐野街道がある。この大富山を大切に守り育て、多くの人たちが四季を楽しみ散策できるように整備管理していくことを目的に活動している。

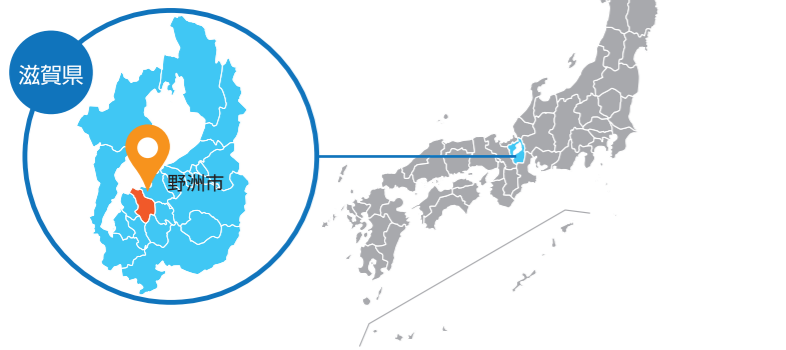
湿地帯及び街道沿いに生育する貴重な植生物等について、学識経験者の協力を得て、調査及び勉強会を実施するとともに、湿地帯の保護・涵養のため保護柵を設置し、湿地帯の中や周辺に生育している雑木や草等の撤去作業を実施した。また、美佐野街道の草刈りや補修を実施するとともに、さくら・もみじなどの植樹も行った。この地方にのみ多く自生しているシデコブシを保存するために、現地調査、整備範囲・保全方針を検討し、今後の活動計画の中に組み込んでいく。

活動実績



ビワマスが遡上する家棟川に —山・川・里・湖の繋がり 再生プロジェクト—

団体名 NPO法人 家棟川流域観光船
 主な活動地域 滋賀県野洲市
 代表者 北出 肇
 HPアドレス <http://www.yanamunegawa.org/>



魚のゆりかご水田生物観察会



びわ湖清掃活動



家棟川清掃活動

活動報告

野洲市の8割の川が合流する家棟川で、ビワマスが遡上し、在来魚介類を育む生態回廊の再生を目指して活動した。

日本水環境学会から水環境の保全・創造に関する社会文化活動が顕著であると「水環境文化賞」を受賞した。

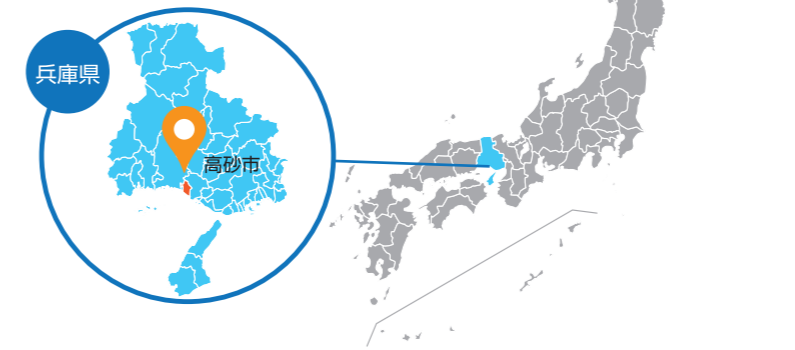
授賞理由は①家棟川流域を中心とした水環境保全活動、②水環境保全意識の醸成を目的とした観光船の運航、③生態回廊の再生を目的とした水と生物の総合調査が評価されたものである。8年間の活動が多くの科学者が集う学会から、このように評価されたことは、この上ない名誉なことである。6月号の学会誌に受賞の言葉が掲載された。

活動実績



海浜公園海辺のアオサ回収& 堆肥化プロジェクト

団体名 高砂海浜公園海辺の保全集いの会
 主な活動地域 兵庫県高砂市
 代表者 吉政 静夫



アオサお掃除大作戦



アオサの回収



アオサ堆肥化

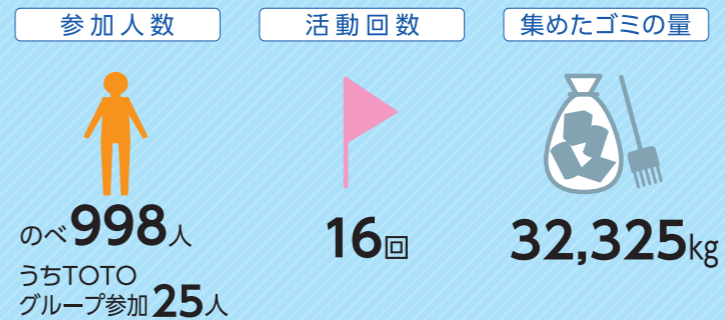
活動報告

私たちの住む東播磨地域の海岸線は、昔から白砂青松で名高い景勝の地であった。その遠浅の海がすべて埋め立てられ、今では臨海工業地帯に変貌し、市民が自由に海辺を散策することも許されない状況になった。

そこで、少しでも渚を取り戻したいと、人工的に造成されたのが高砂海浜公園である。その海辺がアオサの大量発生で「死の海」と化してしまっ。これらを蘇らせることを目的に活動している。

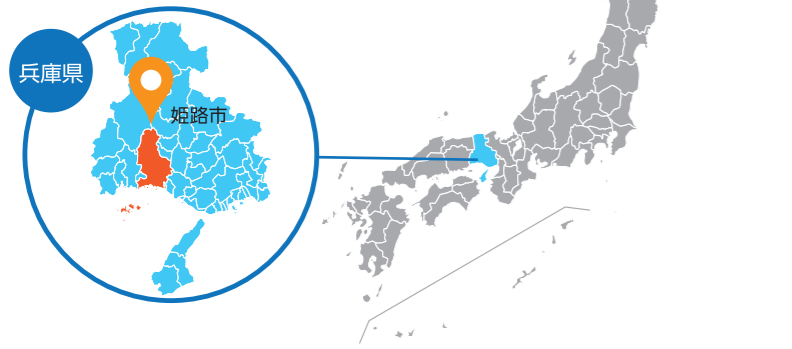
回収したアオサを焼却処理するにも多大の経費が必要であり、これを堆肥化して畑に帰す循環型の活動を目指している。

活動実績



「外堀川クリーン作戦」 ～まちづくりコミュニティ清掃～

団体名 NPO法人 アンビシャス コーポレーション
主な活動地域 兵庫県姫路市
代表者 山本 哲司
HPアドレス <http://18.xmbs.jp/ambitious888/>



活動報告

姫路城本格築城の一環として歴史のある「外堀川」。播磨の初代藩主となった池田輝政は播磨灘から姫路城外濠まで運河を開削し、軍船を入れるとともに舟運を興そうとした。しかし、播磨灘と外濠とでは水位差が10m以上あり、城付近ではかなり掘り下げないと運河として機能しないことや、輝政が慶長18年(1613年)に死去したことなどから、計画は放棄され、流路のみが残った。

戦後に入ると水質が悪化しドブ川となり、このため昭和37年に都市計画で「運河公園」を立案、汚泥の除去などに努め、昭和49年には「二級河川外堀川」に指定された。現在は環境がさらに悪化し、市民や行政の悩みの種となっている。この放置された課題に切り込み、本来の風情ある川を取り戻すべく活動している。



河川環境保全

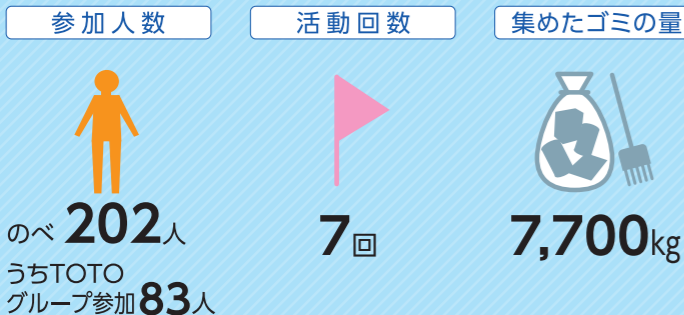


船での川清掃



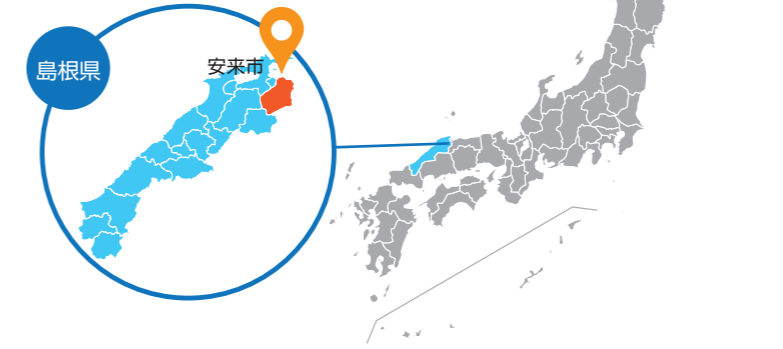
外堀川クリーン作戦

活動実績



親水ひろば・河川敷牧草栽培 による川の再生維持の事業

団体名 NPO法人 飯梨川再生ネット
主な活動地域 島根県安来市
代表者 木村 好勝



活動報告

事業8年目の「親水ひろば」はその活用がますます広がり、近隣の赤江小だけでなく広瀬小もバスで環境学習が行われた。近隣住民行事での駐車場として、また、ドクターヘリポートにも活用され、救急医療に活躍した。

活用を支える整備として4月から11月まで毎週の芝生刈り・清掃にも取り組んだ。

河川敷牧草栽培は事業8年目で22haまで拡大した。これで飯梨川下流域の市街地部分3.1kmを「空に開けた河川空間」に再生し、継続維持できているのは大きな成果である。

「飯梨川の源流から河口まで」の自然再生を貫くため、源流でのクヌギ植樹に着手もした。



芝生刈り



清掃



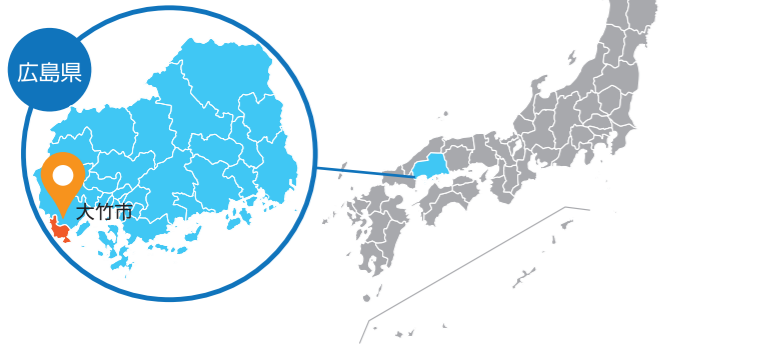
整地

活動実績



こども森林ボランティア 養成講座「もりメイトキッズ」

団体名 NPO法人 もりメイト倶楽部Hiroshima
 主な活動地域 広島県大竹市
 代表者 見勢井 誠
 HPアドレス <http://www.morimate-ch.com/1/index.html>



活動報告

身近な森の恵みを楽しむ森づくり活動体験を通じて、豊かな心を養うことをテーマに取り組んできた。第1回は親御さんたちも山菜の観察と採集を経験、第2回は生活の中で使われなくなった竹の様々な利用法を知ることができた。第3回は雨天のため室内での講座となった。大学生による紙芝居やCO₂と環境の話、間伐したヒノキを使って干支の馬などを作った。第4回は人工林に入って間伐を行い、それを材料にしてピオトープの池づくりをした。

今回は昼食づくりに保護者も参画し、里山的生活体験をし、森林に親しむことができた。環境教育研究部会のメンバーが手分けをして、広報に力を入れたことにより、昨年の倍近い親子(279名)が参加し、森の重要性やボランティア活動を広めることができた。



第1回もりメイトキッズ



第3回もりメイトキッズ



第4回もりメイトキッズ

活動実績

参加人数

活動回数

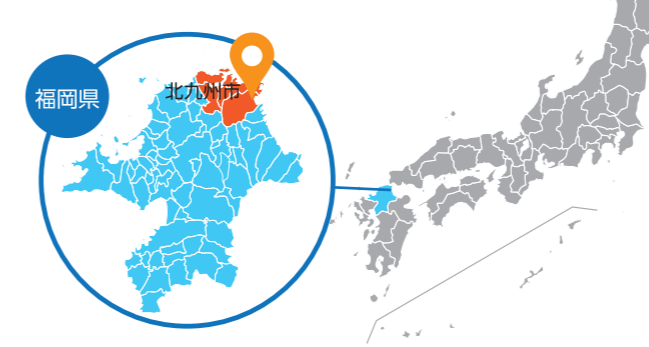
のべ **523**人
うちTOTO
グループ参加 **13**人

27回



水と緑の美化プロジェクト

団体名 東朽網校区まちづくり協議会
 主な活動地域 福岡県北九州市小倉南区
 代表者 柳田 克喜
 HPアドレス <http://sites.google.com/site/mizutomidorinokannkyou/>



活動報告

東朽網は水源地である水晶山、そこからの豊富な水をたたえ曾根平野へ運ぶ貯水池(昭和池)、住民の生活環境となる川(朽網川)、そして豊かな養分を海(干潟)へと送り出す河口、それぞれが地域の宝とも言える、一連の水環境を有した稀な地域である。

東朽網の豊かな自然を通して、環境の変遷や地域の未来を、大人から子どもまで一緒に学ぶ体験型学習(昭和池清掃と植樹、朽網川や河口清掃、カブトガニ産卵観察会)を実施した。

活動の目的は水環境を次世代へ守り繋ぎ、地域の宝の大切さを共感できる、環境意識の高い人づくりを行っていくことである。毎回、TOTOの皆様や一般のボランティア参加をいただいで、大規模で効果的な活動に繋げることができた。今後も、ふるさと東朽網を愛する心を育み、水環境を守り繋げる活動を継続したい。



曾根干潟清掃活動



カブトガニの産卵観察会



もみじ谷清掃活動

活動実績

参加人数

活動回数

集めたゴミの量

のべ **756**人
うちTOTO
グループ参加 **203**人

33回

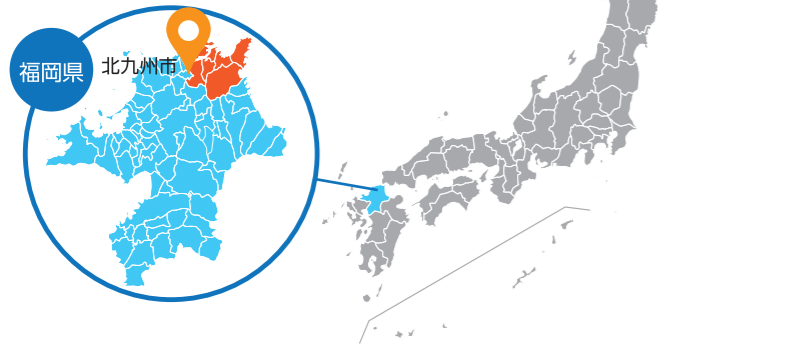
45リットル袋
550袋

植 樹
桜**28**本 梅**1**本
菖蒲**60**株



ホタル舞う日長崎街道を目指して ～ホタルの飛翔域の拡大～

団体名 香川・黒川ほたるを守る会
 主な活動地域 福岡県北九州市八幡西区
 代表者 岩本 正
 HPアドレス <http://sky.geocities.jp/katukikurokawa/>



活動報告

5月下旬から6月上旬にかけて、北九州市八幡西区香月地区を流れる黒川には、約5,000匹のゲンジボタルが飛び交う。この環境を維持するためには、日頃から自然環境保護活動と水棲生物の保護育成活動を継続する必要がある。

2014年度はTOTO水環境基金、北九州市・国土交通省・県土木整備事務所の支援により、目標に向かって充実した活動ができた。

2013年10月に完成した「香月・黒川ほたる館」での活動も軌道に乗りつつある。飛翔域の拡大を目指して、飼育したホタルの幼虫300匹を、子どもたちと一緒に、整備した親水広場で放流した。少しでもホタルの飛翔域が拡大することを願っている。



ホタル祭り



ホタル観賞



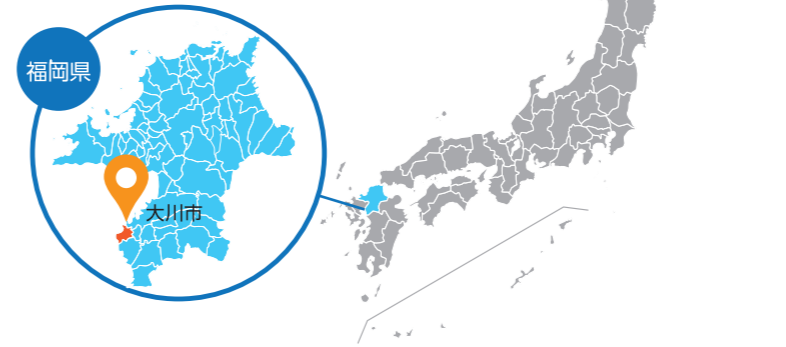
黒川の草刈り

活動実績



ほりの再生をめざして ～多様性と連帯性のふるさとへ～

団体名 アクアリング委員会
 主な活動地域 福岡県大川市
 代表者 本村 凡憲



活動報告

ほり干しを中心とする諸活動を、世代・職業・地域を超えた人々の連携により展開し、この地区を生物多様性豊かな農村景観保全の場、循環型農業実践の場としての位置づけを目指す。

2014年度は12回目のほり干し・ガタ揚げを行った。12年前、本活動に否定的であった農家からの依頼で、その耕作地にガタを揚げた事実は、この間に循環型農業に対する大きな意識変化があったと考えている。

定期的に行っている草刈り作業等も計画どおりに進行し、とりわけ、葦刈の際には、TOTOの方々からの助力を得、円滑に作業を進めることができた。



葦刈り作業



ほり干し・ガタ揚げ活動



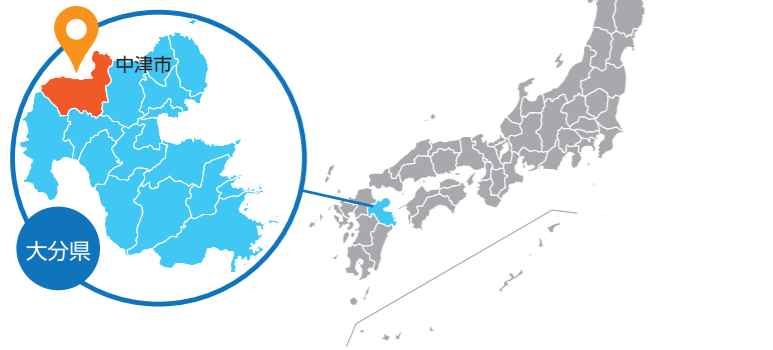
ほりの泥を田んぼの肥料として活用

活動実績



緑豊かな大新田海岸再生プロジェクト

団体名 NPO法人 水辺に遊ぶ会
 主な活動地域 大分県中津市
 代表者 足利 由紀子
 HPアドレス <http://www.max.hi-ho.ne.jp/y-ashikaga/>



干潟観察会



回収ゴミの分別作業



海岸清掃

活動報告

中津市大新田海岸はかつては白砂青松の美しい海岸が広がり、市民の憩いの場であった。しかし、近年は砂浜が消失し、岸にはゴミが打ち寄せられ、松林は荒廃した状態となってしまった。

昔のように子どもたちが浜遠足できる海岸を再生するため、ビーチクリーンと松林の整備作業を実施した。さらに、ゴミのない海岸を目指すための学習会や干潟生物の観察などの啓発活動も行った。

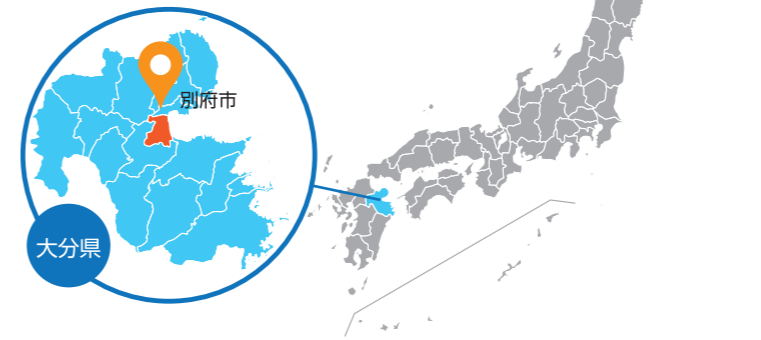
多くの参加者による松林の整備作業で、一部であるが松林の景観が甦り、地域住民からは「昔の松林に戻ったようだ」と喜ばれた。また、行政からは市民と企業の協働の成功例として高い評価を得た。海岸のゴミが少なくなったことも喜ばしいことである。

活動実績



冷川のホタルと親しむ会

団体名 冷川のホタルと親しむ会
 主な活動地域 大分県別府市
 代表者 高橋 東洋雄



海岸清掃



カワニナの放流



冷川の清掃活動

活動報告

冷川の自然環境を整備し、特にゲンジボタルの保護・育成を行い、地域住民をはじめ、多くの人々にホタルを鑑賞してもらうことを目指し、2014年度も引き続き取り組んできた。

年間を通して月2~3回の作業日を設定して実施してきた。TOTO社員・ご家族の方々をはじめ、立命館アジア太平洋大学の教授・学生等、作業への参加者も昨年に比べて増え、また、作業機器も新たに購入するなど、作業効率も格段に向上し成果を上げることができた。

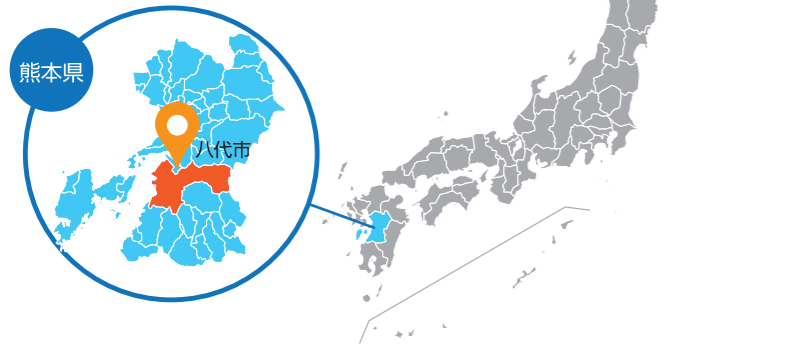
冷川の河川敷の整備が進み、5~6月のホタルの出現数は、昨年までよりかなり増えてきており、成果は確実に実ってきている。

活動実績



第3回 氷川ダム湖かき殻まつりと氷川ダム"ホテルの郷"づくり

団体名 次世代のためにがんばる会
主な活動地域 熊本県八代市
代表者 松浦 ゆかり
HPアドレス <http://ganbarokai.com/>

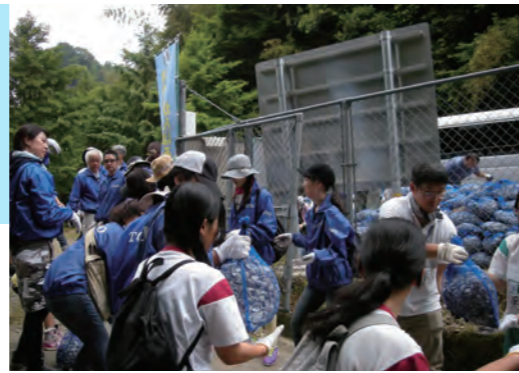


活動報告

熊本県氷川ダム管理事務所の要請を受け、官学民産の共同企画により、生活排水問題に悩むダム湖で牡蠣殻を使用した水質浄化作戦を過去2回行った。今年は地域の方々と市内の高校生約500人が参加した。これは青少年育成・意識の向上と、次世代の環境保護活動の継承にもなった。

また、ダム管理事務所や国土交通省八代河川事務所、熊本県、八代市役所・氷川町などからの後援は、八代郡市をはじめ熊本県全域に広くアピールができた。

引き続き、氷川ダム上流の河川でその後の追跡調査を行い、熊本高専とホテルの育成のためのカワナ増殖研究を行い、今後は「ホテル乱舞大作戦」として、町興しに繋げていきたい。



かき殻リレーの様子



かき殻投与



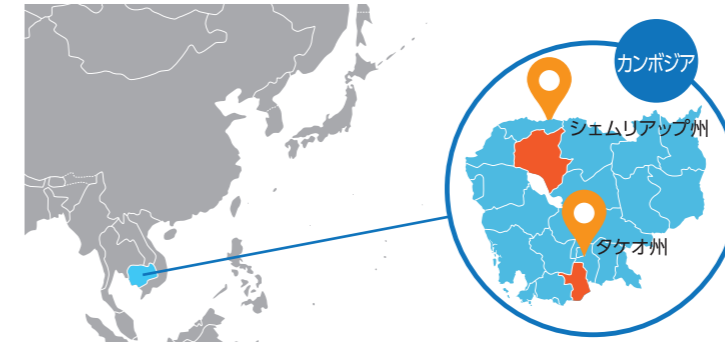
二見かき殻採取

活動実績



カンボジア農村地域の植樹活動及び環境教育

団体名 World Assistance for Cambodia and Japan Relief for Cambodia
主な活動地域 カンボジア シェムリアップ州・タケオ州
代表者 バーナード・クリッシャー
HPアドレス <http://www.cambodiashools.com>



活動報告

村全体の環境保全意識を高め、森林の保護を推進することを目的に、水道が整備されていないカンボジアの農村地域の小・中学校で環境教育を行い、使用できない井戸の修理、浄水器の使用促進、植樹、苗木づくり、清掃指導などを行った。

1~4年間故障していた小・中学校の井戸11校の修繕を行った結果、全校の井戸水を使用でき、学校でのトイレの使用も可能となった。

井戸の修繕を行った学校11校を含め15校で、クメール語で作成した教材を使用して、現地の教師と環境教育を行った。合わせて、CO2吸収効果が高く、栄養価に優れたモリガンの苗木作り、1,000名の生徒の家で育てる果樹1,984本の植樹を行った。



井戸修理

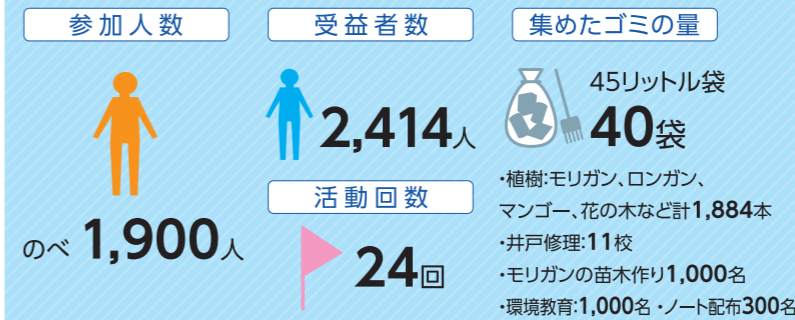


植樹活動



苗木作り

活動実績



フィリピンで有機農業を広め、水源の森を守ろう!

団体名 NPO法人 イカオ・アコ
 主な活動地域 フィリピン共和国西ネグロス州シライ市
 代表者 後藤 順久
 HPアドレス <http://ikawako.com/>



活動報告

山間部パタッグ村のバリグワン地区では、15の農家が農林業を営んでいる。生活用水・灌漑用水が遠く、野菜の栽培ができない上、生活用水運びにも時間を要している。また、一部の農家は、森林を伐採して炭を焼くことを主な収入源としているため、森林伐採も進んでいる。

水源からランパンプで汲み上げた水を溜めるタンクを建設し、ホースで各農家に配水した。また、その水を使って野菜の栽培実験を行った。さらに、水源を守り環境意識を高めるために、日本人ボランティアと現地の農家で植樹活動を行った。

この活動により、農家は単価が高い野菜を収穫することができ、収入の向上につながった。現金収入の向上が、水源の森を守ることにつながっている。



スタディツアー



水源の森を守る



ホースで水を配水している様子

活動実績

参加人数

のべ 38人

受益者数

50人

活動回数

8回

植樹

ナラ・バカン・ナト・ジャックフルーツ・マラン・マンゴー等
1,000本

- 水のタンク(大きさ約2トン)とホースを設置
- 野菜栽培:農家数5家族



モザンビーク共和国・カーボデルガド州・ナンカラモ村周辺への井戸とトイレの設置

団体名 モザンビークのいのちをつなぐ会
 主な活動地域 モザンビーク共和国カーボデルガド州リンデ村
 代表者 榎本 恵
 HPアドレス <http://www.facebook.com/tsunagukai>



活動報告

カーボデルガド州奥地ではいまだに糞尿をトイレで行う習慣がない上、安全な水へのアクセスができない村が多数存在する。

2013年にはコレラにより50名以上が死亡する事態も発生している。リンデ村の村民1,200名の公衆衛生状態および生命の安全を改善するため、トイレを4基設置し、村の学校の先生とともに使い方の指導も実施した。

カーボデルガド州ではコレラによる死者の発生により、トイレ及び公衆衛生施策が必要な村が多くある。本活動を含む公衆衛生活動より、2014年はカーボデルガド州でのコレラによる死者はゼロであった。他の州ではコレラが流行し、ニュースになっていた。



トイレ設置



衛生教育指導の様子



井戸設置

活動実績

参加人数

のべ 55人

受益者数

1,200人

活動回数

3回

活動実績

トイレ4基

井戸設置1基



あしたを、ちがう「まいにち」に。
TOTO